

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 1 月 4 日 (2022.1.4)

【公開番号】特開 2020-36685 (P2020-36685A)
 【公開日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-010
 【出願番号】特願 2018-164309 (P2018-164309)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 19 日 (2021.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、
 所定の処理を実行する処理手段を備え、
 前記処理手段によって実行される前記所定の処理には、メイン処理と、割込の発生に基づき前記メイン処理に割り込んで実行される割込処理とが含まれ、
 前記処理手段は、

前記割込処理において、出力データ記憶領域に設定された出力データを出力する出力処理と、

前記メイン処理において、前記出力データ記憶領域に前記出力データを設定するメイン側設定処理と、

前記割込処理において、前記出力データ記憶領域に前記出力データを設定する割込側設定処理とを実行可能であり、

前記メイン側設定処理中において、前記割込処理の実行を禁止し、

前記メイン側設定処理は、前記出力データ記憶領域に設定されたデータをクリアした後、出力条件が成立しているときに前記出力データ記憶領域に前記出力データを設定する処理であり、

前記割込側設定処理は、前記出力データ記憶領域に前記出力データを設定した後、出力条件が成立していないときに前記出力データ記憶領域に設定されたデータをクリアする処理である、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

遊技が可能な遊技機（スロットマシン 1）であって、
 所定の処理を実行する処理手段（たとえば、メイン CPU 41a）を備え、
 前記処理手段によって実行される前記所定の処理には、メイン処理（たとえば、図 9 に

示すメイン処理)と、割込の発生に基づき前記メイン処理に割り込んで実行される割込処理(たとえば、図16に示すタイマ割込処理(メイン))とが含まれ、

前記処理手段は、

前記割込処理において、出力データ記憶領域に設定された出力データを出力する出力処理(たとえば、出力ポート出力処理)と、

前記メイン処理において、前記出力データ記憶領域に前記出力データを設定するメイン側設定処理(たとえば、LEDデータAの設定処理、LEDデータBの設定処理)と、

前記割込処理において、前記出力データ記憶領域に前記出力データを設定する割込側設定処理(たとえば、LEDデータCの設定処理、LEDデータDの設定処理)とを実行可能であり、

前記メイン側設定処理中において、前記割込処理の実行を禁止し(たとえば、図24に示すように、メイン側設定処理中において割込禁止設定を行う)、

前記メイン側設定処理は、前記出力データ記憶領域に設定されたデータをクリアした後、出力条件(たとえば、LEDデータAの有効化条件、LEDデータBの有効化条件)が成立しているときに前記出力データ記憶領域に前記出力データを設定する処理であり(たとえば、図24に示すように、メイン側設定処理は、LEDデータA, BをOFF設定した後、LEDデータAの有効化条件が成立条件が成立しているときにLEDデータAをON設定し、LEDデータBの有効化条件が成立条件が成立しているときにLEDデータBをON設定する処理である)、

前記割込側設定処理は、前記出力データ記憶領域に前記出力データを設定した後、出力条件(たとえば、信号データCの有効化条件、信号データDの有効化条件)が成立していないときに前記出力データ記憶領域に設定されたデータをクリアする処理である(たとえば、図24に示すように、割込側設定処理は、信号データC, DをON設定した後、信号データCの有効化条件が成立していないときに信号データCの設定をOFF設定し、信号データDの有効化条件が成立していないときに信号データDの設定をOFF設定する処理である)。